ふくふる0710号

＼野菜づくりでふくいの食を豊かに／

Agri Note菜園

アグリ ノート菜園情報

JA福井県

いよいよ本格的な夏の到来を感じる頃となりましたが、日々多くの汗を流しながら過ごされているかと思います。
こまめに水分・塩分補給、保冷剤や携帯型扇風機などを活用し、暑さ対策を行い厳しい夏を乗り切りましょう。
夏野菜の管理で忙しい時期となりますが、引き続き野菜づくりを頑張りましょう。

1．ナス栽培

ナスは家庭菜園初心者でも簡単に栽培できて、たくさん収穫できる人気の野菜です。肥料のことなど、ナスの育て方を紹介します。上手な切り戻し剪定方法で秋まで収穫を楽しみましょう。

2．ナスの追肥とかん水

（1）追肥は生育状況を見ながら行いましょう。

肥料は、そさい5号（速効性）か有機肥料（遅効性）を施用する。

- 1回目の追肥は1番果が肥大したタイミングで行う。
- 2回目以降は生育状況等をみながら2～3週間おきに施用する。

1株当たり

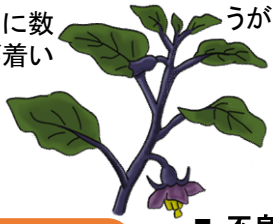
肥料名	N・P・K	1回目	2回目以降
そさい5号	16-10-14	15～20g	15～20g
有機肥料	8- 8 -8	30～40g	30～40g

（2）ナスは乾燥に弱く多くの水分を必要とします。
土壌が乾いたらかん水をしましょう。

水分不足で果実のかたいナスやつやなし果が発生します。また、栄養状態は花の咲き方でわかります。追肥や水やりで回復させましょう！

順調な育ち

■ 花の上方に数枚の葉が着いている



■ **健全花（長花柱花）**
雄しべよりも雌しべのほうが長い

（色が濃い）

栄養不足の育ち

■ 花が先の方に着いている

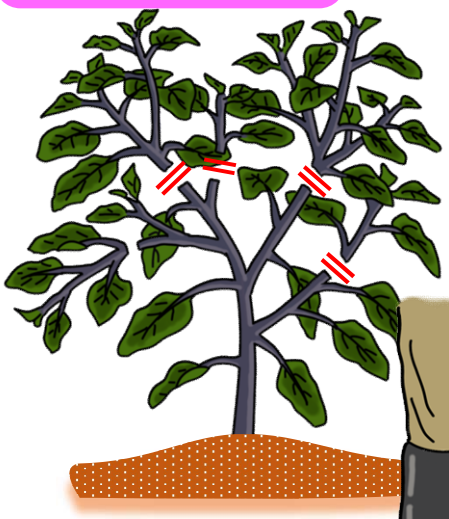
■ **不良花（短花柱花）**
葯に囲まれて短い花柱がある。雄しべより雌しべのほうが短い

（色が淡い）

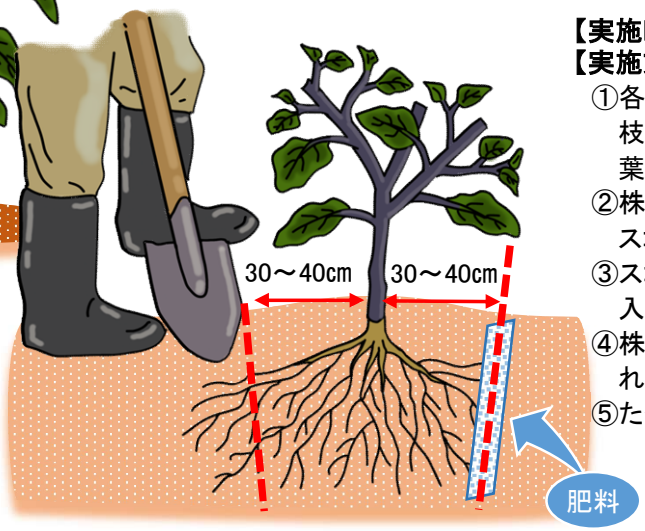
■ 雌しべが雄しべに埋もれて見えなければ栄養状態が悪いサインです。

正常果　　つやなし果

3．ナスの更新剪定



暑さで実のつきが衰えた枝を切って新しい枝を出すために更新剪定を行いましょう。追肥や水やりでリフレッシュをさせることで新しく芽や根が出て8月後半～10月半ばまで品質のよい秋ナスを楽しめます。



■ 更新剪定をすると1カ月程収穫するナスが無いので全体の半分程度更新剪定をするのが良いでしょう。

【実施時期】 7月下旬

【実施方法】

①各主枝に強い芽が残るように徒長枝以外の枝を1/3～1/2程の長さで葉のすぐ上を切る。
②株元から30cm程離れたところへ、スコップを垂直に入れて根を切る。
③スコップを入れたすき間に肥料を入れる。
④株まわりの数か所にもスコップを入れ肥料を施す。
⑤たっぷりと水やりをする。

今回のアグリノート菜園は、福井営農経済センター（米穀施設課）細江が担当しました。